

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名 研究課題名 内科系医療技術負荷度調査
研究機関名 東邦大学医療センター大森病院
研究責任者 循環器内科 職位・氏名 講師・木内俊介

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院循環器内科では、体系的な負荷度の推定を行うことを目的とし本研究を計画しました。診療機器の進歩などに伴い医療は日々進歩を遂げており、この進歩した医療を患者様に届けるため、医療関係者は日々精進しております。一方で、様々な業種で働き方改革が叫ばれていますが、昨今の医学部入試の問題や過労死といった問題もあり、医師においても働き方について考えることは重要です。こうした働き方を見直すことは、より適格で確実な医療を患者様にお届けできることにもつながるのではないかと考えております。働き方を調査するためには現在の医師の負荷量を調査する必要がありますが、過去の全国調査(電話調査)では各診療科行為の典型例について、現場の医師の経験則に基づいた主観的な負荷度を基に相対的な作業負荷を推定するという方法をとっておりました。この研究では急性期の入院患者を対象とした患者の分類システムである DPC 分類を活用し、循環器内科系の DPC 分類を網羅する形で、体系的な負荷度の推定を行うことを目的とします。

本研究で得られる成果により適格で確実な医療を患者様にお届けできることにもつながるものと考えます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。内科系学会社会保険連合(内保連)、日本内科学会、日本精神神経学会、日本小児科学会が合同で行う多施設共同研究です。全国で 5,000 人の患者様にご協力いただく予定です(当科は 50 人)。2018 年 4～9 月の期間に当科に入院もしくは退院した患者様のうち DPC 分類から対象患者様を抽出します。抽出された患者様の診療担当医師に入院中の連続した 3 日間の負荷度をアンケート調査いたします。

【研究に用いられる試料・情報】

2018 年 4～9 月の期間に当科に入院もしくは退院した患者様を対象として、DPC 分類から対象患者様を抽出します。その対象となった患者様の診療状況をもとに診療担当医師へアンケート調査を行います。

【外部への試料・情報の提供】

本研究で使用された DPC データおよびアンケート結果は負荷度調査委員会に提出されますが、あなたの個人情報がかからないように管理します。

【研究組織】

代表施設名: 内科系負荷度調査委員会

研究代表医師: 高橋和久 役職: 順天堂大学付属順天堂医院 院長(呼吸器内科 教授)

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】 東邦大学医療センター大森病院 循環器内科
職位・氏名 講師・木内俊介 電話 03-3762-4151 内線 6545